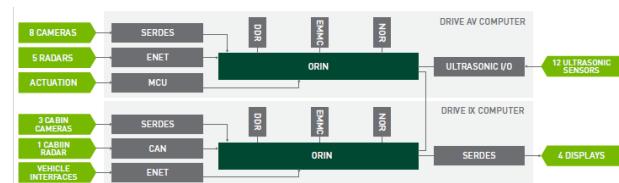
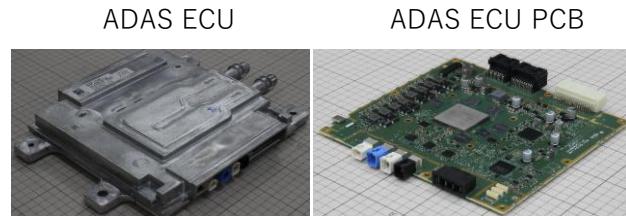
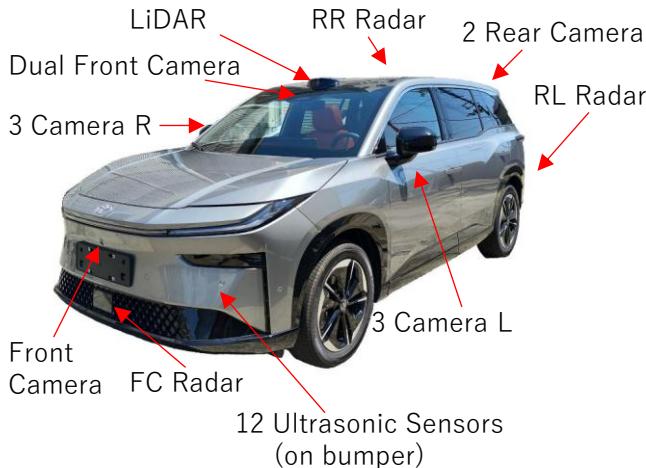


ADAS ECU : 德賽西威(Desay SV Automotive) 広汽トヨタ bZ3X搭載 基板解析(機能推定とブロック図作成)レポート (企画)



<https://www.nvidia.com/content/dam/en-zz/Solutions/self-driving-cars/drive-platform/auto-print-drive-product-brief-final.pdf>

レポート概要

広汽トヨタ(広州汽車とトヨタの合弁会社)が2025年3月に発表したbZ3Xは、車両価格を日本円換算で約225万円～に設定し、低価格戦略で躍進するBYDに価格で対抗しつつ、自動運転を担うADAS機能が充実しており、中国市場で好評である。11台のカメラ、3台のミリ波レーダー、1台のLiDAR、12個の超音波センサによって構成されるADAS機器と、AIチップであるNVIDIA DRIVE ORINの組み合わせで、Level2+以上の機能を提供する。

製品特徴

- ADAS SoCにNVIDIA DRIVE ORINを採用。254TOPSの推論処理能力により、自動運転Level2+を実現。100W近い消費電力の為、水冷機構を持つ。
- 11台のカメラ、3台のミリ波レーダー、1台のLiDAR、12個の超音波センサを持つ。

解析内容

- ユニット分解過程写真
- 基板写真
- 主要搭載部品情報
- 推定ブロック図
- ADAS ECUで使用している信号インターフェースの情報

レポート価格

予定価格：¥1,000,000 (税別) 納期：企画成立後 12営業日